

2021年5月21日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社
SMFL みらいパートナーズ株式会社

資産管理をDXする新サービス「アセットフォース(assetforce)」の提供開始について

三井住友ファイナンス&リース株式会社(取締役社長:橋 正喜、以下「SMFL」)および戦略子会社 SMFL みらいパートナーズ株式会社(取締役社長:寺田 達朗)は、企業が使用する資産の取得、使用、処分など一連のライフサイクルにおける最適なマネジメントを支援するクラウドサービス、「アセットフォース(assetforce)」の提供を開始します。

本サービスは、AI、IoT、ARなどの先端デジタル技術を活用し、事業活動で使用される機械・設備、商材について、導入の計画段階から、取得・調達、運用・管理、さらには売却・廃棄に至るまで全てのプロセスを一元管理し、資産の情報や状態を可視化するものです。これにより、資産管理業務や運營業務の大幅な効率化が図れるとともに取得や処分に際して最も適切な判断を行うことができます。

具体的には、機械・設備、商材ごとにバーコード、QRコードまたはICチップを貼付し、スマートフォン上のモバイルアプリを使ってスキャンすることで資産の状態や稼働状況を瞬時に把握し、稼働・活用状況の可視化およびスピーディーなデータ分析を行います。また、データの一括アップロード・ダウンロード、写真・動画を含む資産情報管理、メンテナンスやステータス変更など履歴管理の機能も有しています。

この可視化と一括管理により、棚卸しや入出庫業務にかかる時間や工数を大幅に削減することができます。また、業務指示の受け渡し、承認、報告など一連のワークフローをデジタル化することで部門や会社をまたいだプロセスの作業時間短縮と作業ミスの削減が図れます。さらに、稼働状況が低い機械・設備のリース・レンタルへの変更、他の部門への融通、一部処分、新規取得の抑制など稼働率や生産性の向上に向けた施策や判断を的確かつ速やかに行うことが可能となります。

アセットフォースは、資産管理・活用におけるDXを加速し、効率的な資産活用やムダな投資の抑制を可能にするサービスです。そして、ESG、SDGs 経営ならびに働き方改革の推進にも資するものです。今般のサービス提供に先立ち、十数社の企業と実証実験を開始しており、この結果や導入企業のニーズを踏まえて、機能拡張を継続して実施していきます。また、導入を検討されるお客さまに、資産情報・履歴情報などのサンプルデータやワークフロー・帳票などのテンプレートをもとにサービスが体験できるトライアル版を提供します。

SMFLは、デジタル分野に強みを持つ旧日本GEのリース事業(SMFLキャピタル株式会社に社名変更)との統合を経て、デジタル先進企業を宣言し、デジタルをエッジとしたビジネスの変革を推進する企業

を目指しています。これからも、あらゆるモノを扱う総合リース会社の機能・知見・ノウハウをベースにモノのライフサイクルにおけるデジタルシフトを推進していきます。

※「アセットフォース(assetforce)」についての詳細、お問合せは以下のサイトをご参照ください。

URL : <https://pr.asset-force.com/>

以 上

【プレスに関するお問合せ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社 広報 IR 部 五十嵐 TEL 03-5219-6334